エコマーク ニュース

ECOMARK NEWS

ちきゅうにやさしい

エコマークは（財）日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料で賄われています。この「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、新規選定のエコマーク商品類型、認定基準案など、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2002.1.18 No. 31

■京都大学大学院経済学研究科教授
植田和弘氏による基調講演

■「エコマークシンポジウム（西日本地区）」が開催されました
12月7日、大阪市のアジア太平洋トレードセンター（ATC）においてエコマークシンポジウムが開催されました→関連記事4ページ

目　次 ・CONTENTS

お知らせ

・シンポジウム（東日本地区）
開催のご案内 ………… 2
・エコマーク商品紹介リーフレット
「発見！あなたの身近にエコマーク」に、シリーズ
第2号「古紙のリサイクル製品〜文具・事務用品〜」および
第3号「パーソナルコンピュータ」が完成、配布中 ………… 2

公開案

・エコマーク商品類型No.117「複写機」
認定基準の一部改定 ………… 3

トピックス

・「エコマークシンポジウム（西日本地区）」開催の結果報告 ………… 4
・エコマーク相談会開催の結果報告 ………… 4
・「エコプロダクツ2001」出展の結果報告 ………… 4

お知らせ

シンポジウム（東日本地区）開催のご案内
タイトル：「グリーンコンシューマーを広げよう（副題：エコマークが果たす役割）」

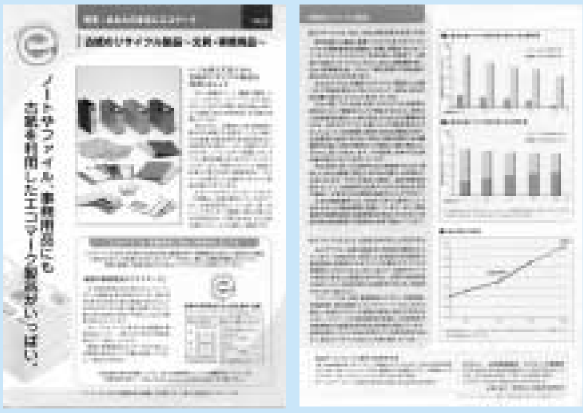
グリーン購入法の施行などを背景に、組織でのグリーン購入の取組みが進み、エコマーク商品も各所で多く採用されてきています。一方で、個人消費者においては、商品購入時にエコマーク商品を選択購入していただくことの普及が進んでいるとは言えず、依然として課題となっています。

このような現状を踏まえ、幅広く個人消費者も含めたグリーン購入を推進していくためには、効果的、かつ具体的な方策の検討が急務となっています。今回その一環として、グリーンコンシューマ東京ネットの協賛を得て、シンポジウムを開催する運びとなりました。今後のエコマークおよびグリーン購入における課題を、皆様と共に検討して参りたいと思います。当日は、同志社大学教授の郡嶌　孝氏による基調講演やパネルディスカッションなどを行う予定です。詳細が決定次第、改めてご案内します。

開催日：2002年2月4日（月）
午後13：30～16：30
場　所：東京ウィメンズプラザ
東京都渋谷区神宮前5-53-67
電話03（5467）1711

エコマーク商品紹介リーフレット『発見！あなたの身近にエコマーク』にシリーズ第2号「古紙のリサイクル製品～文具・事務用品～」および第3号「パーソナルコンピュータ」が完成、配布中

エコマークでは、一般消費者への普及をめざし、エコマーク商品の背景にある環境問題や環境保全上の効果などの情報提供を行い、エコマーク商品への理解を広げることを目的としたシリーズリーフレット「発見！あなたの身近にエコマーク」（A4：両面）を作成しています。この度、エコマークニュース第30号でご紹介しました「ペットボトルのリサイクル製品」に続き、シリーズ第2号「古紙のリサイクル製品～文具・事務用品～」および第3号「パーソナルコンピュータ」が完成しました。今後、これらのリーフレットを一般消費者をはじめ、国、自治体などへ積極的に配布してまいります。また「自社で独自に配布したい」など、ご要望される方がありましたら、エコマーク事務局までご相談ください。



第2号「古紙のリサイクル製品～文具・事務用品～」

第3号「パーソナルコンピュータ」

公開案

エコマーク商品類型№117「複写機」認定基準の一部改定

第14回エコマーク類型・基準制定委員会(委員長:郡嶌 孝　同志社大学教授)の決定に基づき、エコマークニュース第30号(2001年12月20日発行)掲載の№117「複写機」認定基準の一部改定案公開に、以下の改定点を追加します。今回新たに追加する改定点の公開に関して、2002年3月18日(月)まで意見の受付を行います。意見の受付については、4ページの「基準公開改定案に関する意見の受付について」をご参照下さい。

エコマーク商品類型　NO.117「複写機」(改定公開案)

●(平成13年12月20日付改定公開案に追加して改定する箇所のみ抜粋)
● ══ 部分が新たに削除される項目
●青色太字下線部分が新たに追加される項目

4.　認定の基準

4-1　環境に関する基準

(21)以下の①～~~⑥~~**⑤**の技術情報を~~取扱説明書もしくはそれに相当するもの~~**製品添付書類**に明記すること。

⑤使用後の二次電池の引き取り、再使用、リサイクルまたは廃棄物処理情報を記載していること

~~⑤使用電池の種類~~

~~⑥その地域での規制に則した使用後の電池の廃棄方法~~

(25)**プラスチックに使用する添加剤として**カドミウム、鉛、水銀はワイヤーを含む電気、電子部品を除いて使用してはならない。

5.　認定基準への適合の証明方法

(10)4-1-(10)および(11)はエナジースターロゴ使用製品届出書(証10)~~および~~**または**テスト結果の報告書を提出すること。また、4-1-(11)は別表1～7に適合していることの証明書を提出すること。

別表1　複写機に係る基準

複写速度 (分当たりの複写枚数)	基準エネルギー消費効率			
	A4機	B4機	A3機	A3Y機
～10	**11** ~~12~~	※	19	27
11～20	※	※	55	77
21～30	※	85	99	139
31～40	88	108	125	175
41～50	123	151	**176** ~~181~~	246
51～60	144	176	※	287
61～70	180	221	**257** ~~※~~	**383** ~~391~~
71～80	200	246	※	433
81～85	258	317	※	483

備考）1　「A4機」、「B4機」、「A3機」、「A3Y機」とはそれぞれA4判の短辺、B4判の短辺、A3判の短辺及びA3判の長辺を最大通紙幅とする複写機をいう。

2　エネルギー消費効率の算定法についてはエネルギーの使用の合理化に関する法律(昭和54年法律第49号)に基づく通商産業省告示第193号(平成11年3月31日)の「3エネルギー消費効率の測定方法」による。

表8　騒音の基準値

待機時欄に記載の以下の記述を表の欄外下に記載する。

＜サンプル台数1台の場合は、＞　$L_{WAd} = L_{WA}+K$、＜K＝0.3B＞

2002年4月1日改定予定

以上

「基準公開改定案に関する意見の受付について」

(1) 郵送およびFAXによる受付

- 住所、氏名、性別、職業、連絡先、電話番号、FAX番号
- 意見を述べるエコマーク商品類型の認定基準名
- 上記認定基準への意見の要旨を、書面(A4)にて、2002年3月18日(月)(同日消印有効)までに、下記財団法人　日本環境協会エコマーク事務局宛に郵送またはFAXでお送り下さい。

財団法人　日本環境協会　エコマーク事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋1—7—2
虎の門高木ビル7階
TEL 03(3508)2662　FAX 03(3508)2656

(2) e-mailによる受付

- 住所、氏名、性別、職業、連絡先、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス
- 意見を述べるエコマーク商品類型の認定基準名
- 上記認定基準についての意見の要旨をe-mailにて、2002年3月18日(月)17:00までに下記宛お送り下さい。

(なお添付ファイルを送付される場合はMS-WORD、一太郎、エクセルでお願いします)

e-mail〔ecomark@japan.email.ne.jp〕

トピックス

「エコマークシンポジウム（西日本地区）」開催の結果報告

去る12月7日(金)、大阪市のアジア太平洋トレードセンター(ATC)のITMホールにおいて、「消費者へのエコマーク普及を如何に図るか」をテーマに、エコマークシンポジウム(西日本地区)を開催しました。当日は、京都大学大学院経済学研究科 教授 植田和弘 氏による「エコマークの課題と展望」についての基調講演、エコマーク事務局から最近の事業報告、エコマネジメント研究所代表 森下 研 氏をコーディネーターに迎えてのパネルディスカッション(パネリスト:池島 紀子氏(ATCグリーンエコプラザ)、田口 整司((財)日本環境協会)、手塚 則子氏(コクヨ株式会社)、寺下 晃司氏(生活協同組合コープこうべ)、福井 富久子氏(東洋紡績株式会社)［五十音順］)などが行われ、認定企業の方を中心に、102名が参加されました。

エコマーク相談会開催の結果報告

本年5月11日、8月30〜31日の2回にわたり、ATCグリーンエコプラザ(大阪市)において開催した「エコマーク相談会」は、申込が定員を超え先着順とさせていただくなど、一部の方のご希望に添うことができませんでした。そこで再度、12月6日に同所にてエコマーク取得のための「エコマーク相談会」を実施しました。今後も、エコマーク取得を希望する西日本地区の方を対象とした相談会を継続して行ってまいります。

「エコプロダクツ2001」出展の結果報告

12月13日(木)〜15日(土)の3日間、東京ビッグサイトにおいて、「エコプロダクツ2001」が開催され、エコマーク事務局は「第三者認証ラベル」として主催者コーナーへ出展しました。3日間を通じておよそ8万9千人の方が訪れました。また、開催初日には川口環境省大臣、古屋経済産業省副大臣も視察にみえられました。また、入口の主催者ステージでは、毎日時間ごとに環境省のVTRや、エコマーク事務局を含む主催者コーナー出展団体によるセミナーなども行われました。

エコマークニュース　第31号　2002年1月18日発行

編集・発行／財団法人　日本環境協会　エコマーク事務局
〒105-0003　東京都港区西新橋1-7-2虎の門高木ビル7F
認証課　TEL:03(3508)2653　FAX:03(3508)2656
基準課・普及課　TEL:03(3508)2662　FAX:03(3508)2656
Homepage：http://www.jeas.or.jp/ecomark/
E-mail：ecomark@japan.email.ne.jp

この印刷物はエコマーク認定の印刷用紙、印刷インキを使用しています。